

科目名 (科目番号)	医療安全管理	教員名 峯岸 忍	学科等	理学療法	必修	履修年次	3
	(時間割参照)		曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
			授業形態	講義	オフィスアワー		
授業概要	安全なリハビリテーションの実施に欠かせない「安全管理」と、2020年4月施行の改正指定規則で救急救命が必修化されたことでさらに重要視されている「救急医療学」について学びます。						
目的・目標	目的:安全管理・救急医療の基本的知識を理解する。 目標:医療・福祉領域における事故予防策と基本的な感染予防策を説明できる。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	安全管理学総論	到達目標:安全管理・医療安全の重要性が理解できる。 学習内容:医療安全の目的と対策を概観する。				
	2	医療・介護施設および感染症に対する安全管理	到達目標:医療介護施設でのリハビリテーション安全管理を理解する。 学習内容:医療介護施設での安全管理および感染症対策について学ぶ。				
	3	転倒予防および医療・リハビリテーション機器の安全管理	到達目標:転倒予防および医療・リハビリテーション機器の安全管理について理解する。 学習内容:転倒の要因や対策、リハビリテーション機器の関連法規と安全管理について学ぶ。				
	4	安全管理を高める連携と教育	到達目標:安全管理を高める連携と教育について理解する。 学習内容:リハビリテーション部門の安全管理教育や危険予知トレーニングについて学ぶ。				
	5	救急医療学総論	到達目標:救急医療の重要性が理解できる。 学習内容:緊急を要する病態・臨床所見や災害医療について学ぶ。				
	6	救急医療での主な病態と急性期・周術期の循環・代謝動態	到達目標:救急医療における主な病態を疾患別に理解できる。 学習内容:中枢神経・循環器・呼吸器・外傷の病態や術後アセスメントについて学ぶ。				
	7	救命救急・集中治療室および高度急性期リハビリテーション	到達目標:急性期リハビリテーションについて理解する。 学習内容:救命救急・集中治療室・高度急性期(脳卒中患者など)に対するリハビリテーションの役割と実際について学ぶ。				
	8	在宅での安全管理および緊急時の対応と一次救命処置	到達目標:在宅での安全管理および緊急時の対応と一次救命処置について理解を深める。 学習内容:緊急時の対応や一時救命処置の方法などについて学ぶ。				
成績評価の方法・基準	対面時:期末試験(100%) オンライン時:期末試験(100%:オンライン試験)						
教科書	リハベシックス 安全管理・救急医療学		編集:内山靖ら		医歯薬出版		
参考図書	リハビリテーション医療における安全管理・推進のためのガイドライン 第2版		日本リハビリテーション医学会		診断と治療社		
教員からのメッセージ	急性期病院に勤務する理学療法士がこの授業を担当します。開講日は外部講師の予定に合わせて不規則になることがあります。						